# 平成24年度高鍋町事務事業評価表

# ◎事務事業の概要

事務事業名	業名 「ふるさと納税制度」促進事業				持続可能な財政基盤の構築					
担当課(局)・係	政策推進課	財政経営係	記入者	児玉亘弘	評価者	森弘道	開始年度	H20	年度	

# ◎事務事業の目的・内容

	O 7 (0 7 A V 1 B) 1 7 1																		
		3	対象	(誰を・何を	) ふ	るさ	上納れ	兑対多	食者										
事業の目的 意図・目的 主とする寄付金の確保にとどまらず、寄付者 る。									才者と	との関係性を継続的なものとするような施策を展開す									
事業	事業の内容 高鍋町の状況等を分かりやすく伝える広報を行う。また、寄付者との関係を継続させる制度として「ふるさとたかなべサポーター」を創設し、季刊情報を発信する。											なべ							
23	23年度決算額 14 千円 24			24	年度	予算額	<b></b>		千円	事業従事者数	H23	H23 0.06 人		H24	0.06	人			
主	主 報償費 14 千円				围	車支出金 千円			23年度人件費 428 千円										
な	な		千円	財	祡	県支出金			千円	24年度人件費		429			千円				
支出項					千円 源		千円 况 地方債		千円 24年度予算額における一般財源の割合				(H24)	24) 100.0 %					
項						千円訳		_	一般財源		86	千円	根拠法令・要	綱等な	<b>岡等があれば記載してください</b>			١	
目						千円						千円							
	V	なし	[	町単狐	虫補	助		国県	:補助		補助事業	<b>Ě名</b>	-						
mj の	前 補助交付団体 -						補助金頭	更綱			-								
補				補助の	形態	-		H24年度補助額	-	千円	終期	玥	- 组	F度					
助	23	団体	<b>本の</b> :	決算額		-		千円		H2	3年度まで	の見	直しの状況・評価	委員会	€での決	定事	項等		
事業	年度	補	助の	)割合		-		%											
<sup>−</sup> + + + + + + + + + + + + + + + + + + +																			

# ◎成果指標と活動指標

	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか				
成果指標	1 寄付件数	H22年度件数より2件増えた(口蹄疫分を除いた場合)。				
	2 寄付金額	122年度より106万円増えた(口蹄疫分を除いた場合)。				
	3					
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に				
	1 広報活動	ホームページを季節毎に更新し、無料掲載のHPや情報誌に掲載を依頼				
活動指標	2 季刊情報発信	「ふるさとたかなベサポーター」を創設し、寄付者への季刊情報をメール及び郵送で発信				
	3					

#### ◎達成状況

	指標名		単位	22年度	23年度	24年度
		目標値	件	15	15	15
	寄付件数	実績値	14-	36	11	
<del></del>		達成率	%	240.0%	73.3%	
成 果 指		目標値	円	1,000,000	1,000,000	1,000,000
大 指	寄付金額	実績値	1,	1,625,000	1,560,000	
標		達成率	%	162.5%	156.0%	
1214		目標値				
		実績値				
		達成率	%			
	広報活動	目標値		5	5	5
		実績値	ഥ	3	2	
汪		達成率	%	60.0%	40.0%	
活 動 指		目標値	回	4	4	
指	季刊情報発信	実績値	ī	3	4	
標		達成率	%	75.0%	100.0%	
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			

#### ◎事務事業の評価

O 1-320 1-216 of 11 lim								
	担当者記入欄	評価する項目						
		◎目的からして町が行うべきか						
。 妥必	制度の趣旨からすると、町が行うべき事業である。	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか						
妥必 当要 性性		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか						
		◎事業廃止による影響があるのか						
有効	国としては「ふるさと納税」に対し今後縮小していく可能性がある	◎目標に対して成果は得られているか						
性	ため、町独自の施策を拡大していく必要がある。	◎すでに目的は達成されていないか						
効率性	季刊情報への感想、またまちづくりに対する提言も寄せられてお	◎活動量の効果は実際に上がっているか						
性	り、反応がある。	◎費用対効果が充分に認められるか						
協働性	なし。	©町民との協働の可能性があるか(ボランティア・ NPO等)						
			合計(最高18点)	14				

×⊞т	補助をしている場合のみ記入					
· 公公	開めてしている場合のからに入	◎公益性が高いか ※公益性: 不特定かつ多数の 寄与していること				
益平性性		◎行政では対応できない部分 バーしているか	うを、補助事業がカ	-		
)		◎町民の理解が得られる事	業であるか	-		
			合計(最高4点)	-		
その他						

#### ◎総合評価(今後の方向性を含む)

					今後(	の方向性	ŧ	
総	◎担当者の方針に対する		かた		0			
合	評価者としての所見	源の確保手段としては有効である。 今後はふるさとサポーターとして町に対する提言等が多く寄せられるように努めてもらいたい。高額寄付者への返礼品も をを進めるべきと考 検討し寄付者の増加を図る検討も必要と考える。	業	維持				
	◎ 毎日老月 て どのよう		の方	縮小				
評	に事業を進めるべきと考		向性	廃止				
価	えているか、等		II		廃止	縮小	維持	拡充
					•	<b>=</b> 2	スト	

# ◎事務事業評価委員の意見等 ○高鍋町をより全国に発信することが、必要であると考える。 ・現在の「ふるさとたかなベサポーター」が、継続して寄付いただけるよう、今後も検討することが 必要である。 判定 料定 外部評価委員会 判定 答申書参照